



校長室だより

校長 菅原 定志

伝統をつくる

始業式、入学式から早いもので3週間を迎えようとしています。今週末からはゴールデンウィークが始まります。いつもの年であればウキウキワクワクする時期ですが、今年も感染症対策を十分にとって過ごす日々になると思います。ご家庭でも、よろしくお願ひいたします。

さて、先日4月17日(土)は本校の開校記念日でした。16日(金)には、私から開校記念の講話を行いました。開校記念の講話となると歴史の話になりがちで、話も長くなる予感がしたので、講話は3問のクイズとしました。すべて3択問題です。1問目は開校して何年になるか(答:75年)、2問目はこれまで一番多かったときの生徒数(答:777名)、3問目はこれまでの卒業生数(答:10,472人)でした。全問正解した生徒もいました。75年の歴史を持つ鹿折中学校です。たくさんの卒業生が各方面で活躍されています。そこで、講話のまとめとして、「伝統を引き継ぐのは皆さん一人一人です。しかし、引き継ぐだけでは何の進歩もありません。ぜひ皆さんには『新たな伝統』をつくってってもらいたいと思います」と話をして講話を終えました。

先日、鹿折地区振興協議会の尾形会長様と鹿折地区まちづくり協議会の熊谷会長様が来校しました。来校の目的は、災害時の避難所についてでした。

3月20日(土)に発生した地震と津波注意報で、本校体育館にも10名以上の避難者があり、本校駐車場に車中で待機されていた方も含めると多くの方々が本校に避難してきました。避難所開設の準備もあろうかと振興協議会、まちづくり協議会、そして私も含め教職員が駆けつけました。ある程度短い時間で津波注意報が解除されたことから、避難所開設はせずにはほったことを覚えています。

そこで両会長様からは、いつ大きな災害が発生するかもしれないことから、地域の方々と中学生で避難所開設訓練はできないかという提案をいただきました。昨年度、まちづくり協議会が本校体育館で避難所開設訓練をし、それをもとに本校生徒が避難所初期設営訓練をしました。今回いただいた提案は、本校生徒が昨年度行った活動が認められ、そして地域の一員として活躍できる場を提供させていただくチャンスととらえました。さらに、昨年度から防災学習の内容を大幅に改訂し、実践してきたことが地域の皆様に認められたのだと思いました。地区独自で中学生と地域住民が一緒に避難所設営訓練を行うのは、新しい取組だと思います。新たな伝統としてぜひ行ってみたいと思っています。感染症の状況を見ながらとはなりますが、6月13日(日)を授業日とし、午前2時間で避難所開設訓練、午後は授業参観、学年懇談会を行うこととしています。詳しいことは、後日お知らせいたします。



【昨年度実施した避難所初期設営訓練】